

他人ごとではない近畿の原発

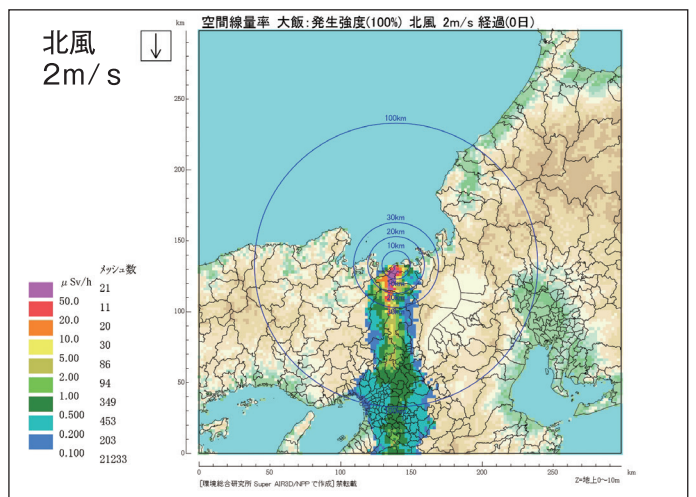
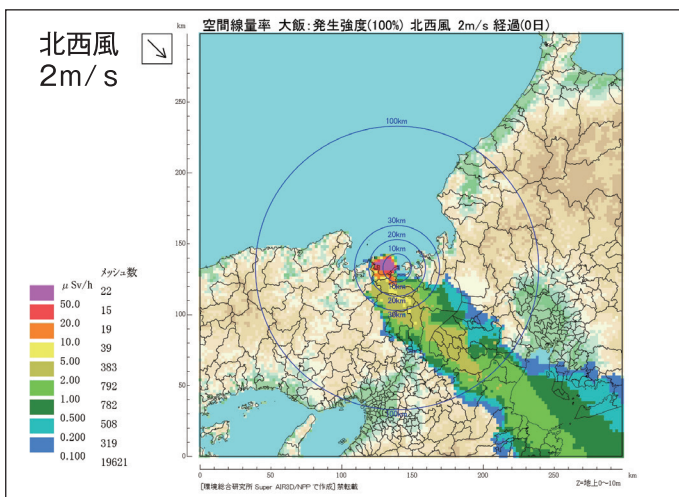
福井・若狭湾で事故が起これば

琵琶湖の水が汚染され 水道が使えなくなる

福井の若狭湾には、廃炉作業中も含めて15基もの原発があります。もしそこで、北西の風が

吹く日に福島第1原発のような事故が起これば、まっ先に琵琶湖、桂川、木津川などの淀川水系流域が放射能で汚染され、淀川水系を水道水として使用している近畿1500万人の飲み水がなくなるといふ深刻な事態になります。

大飯原発で事故が発生し、福島第一原発と同程度の放射性物質が放出された場合の事故当日の空間線量率の予測



環境総合研究所の原発事故時想定シミュレーションシステム Super AIR 3D/NPP で作成【禁転載】

安全・安心への道は 原発をゼロにすること

また、近畿のほとんどの府県に強い放射能が降り注ぎ、私たちの命と健康は脅威にさらされます。そして、福島同様に集団避難を強いられる事態になりかねません。

そんな事態にならない最大の保証は原発をなくすことです。原発ゼロを決断し、自然エネルギーの推進、省エネ・低エネルギー社会に舵を切り替えることです。

自分のために、家族のために、子どもや孫のために、そして、未来の人たちのために、今こそ世論の力で原発を止めさせましょう。



琵琶湖・淀川の流域・給水区域図
(「琵琶湖・淀川水質保全機構」より)